

記事詳細

[記事一覧に戻る](#)

建設業人材確保・育成へ (2014/09/13 4面) 建協、県 合同企業就職説明会等



県建設業協会(川畑俊彦会長)と県は12日、鹿児島市のレンブラントホテル鹿児島で建設業者向けの建設業就職ガイダンスおよび労務管理研修会などを開いた。終日かけて建設業界の新規就業者確保や処遇改善に向けた取り組み、就業支援に関する説明などが行われた。共催は鹿児島労働局、鹿児島公共職業安定所。



今回のイベントは、県が2014年度から進める「建設業人材確保・育成事業(地域人づくり事業)」の一環として実施された。合同企業説明会・面接会では、会場内に17社(求人数45人)の建設企業ブースが並び、県内の建設・土木企業の概要や従事する業務、求人内容などの説明が受けられるとあって、求職者が次々と来場した。

普通高校を卒業後、大学で土木課程を修了し、一般企業に就職している薩摩川内市から来た女性は「今の仕事に不満はないが、どうしても土木の仕事に携わりたかった」と、面接担当者の話に熱心に耳を傾けていた。

面接担当者の一人は「団塊世代の大量退職や若手技術者不足を補うためにも、一人でも多くの若者の採用を図りたい」と話した。

会場内には、スキルアップや資格取得に関する相談コーナーも併設されたほか、建設業就職ガイダンスでは各企業が自社のアピールポイントを分かりやすくプレゼンした。

県建設業協会の種子島久志事務局長は「建設業が魅力ある産業として認知してもらうためにさらなる努力が必要」と話し、「今回の反省を次回に生かし、建設業の若者定着率向上を図っていきたい」と述べた。



[更新:2014/09/16 No:658834]